

# 全国釣竿公正取引協議会

## 第 164 回理事会 議 事 録

1. 開催日時 令和 3 年 3 月 10 日（水） 14 : 00 ~ 15 : 00

2. 開催場所 オンライン会議システム（Zoom）

### 3. 議 事

#### (1) 定足数確認

理事総数 12 名・監事総数 2 名

<オンライン会議出席者数 理事 11 名・監事 2 名>

会 長 藤井 治幸（株式会社がまかつ）

副 会 長 鈴木 隆（株式会社リチャーズ）

専務理事 小松 智昭（全国釣竿公正取引協議会）

理事（会計） 橋本 俊哉（株式会社エバーグリーンインターナショナル）

理 事 鈴木 健一（株式会社上州屋）

理 事 塩澤 直人（株式会社天龍）

理 事 櫻井 孝行（櫻井釣漁具株式会社）

理 事 谷山 令一（谷山商事株式会社）

理 事 加藤 慶太（株式会社ジャクソン）

理 事 鈴江 浩康（グローブライド株式会社）

理 事 保井 利彦（株式会社シマノ）

監 事 玉越 和夫（株式会社スミス）

監 事 姫野 哲司（株式会社ティムコ）

<委任状出席 理事 1 名>

理 事 宇崎 隆（株式会社宇崎日新）

#### (2) 議長選任

会則第 21 条により、藤井治幸 会長が議長に就任し議案審議については、オンライン会議システム Zoom にて行った。

#### (3) 議決権行使及び意見表明方法

オンライン上で、理事は議決権を行使、監事は意見表明を行った。

#### (4) 第 163 回理事会議事録の確認

第 1 号議案 令和 2 年度中間監査について

第 2 号議案 総務委員会 委員就任について

第 3 号議案 周知広報について

第 4 号議案 その他

詳細は議事録をご確認いただく。

#### (5) 第 164 回理事会議事録署名人の選出

会則第 23 条の規定により藤井会長、出席者より塩澤直人 理事、加藤慶太 理事が就任することに同意した。

#### 4. 議 案

##### 第1号議案 第13回総務委員会開催報告について〈報告事項〉

資料に基づき事務局が、第13回総務委員会開催報告を行った。

- ①新たに委員に就任された、鈴江浩康 委員、保井利彦 委員の紹介を行った。
- ②令和3年第37回定時総会をもってすべての役員が任期満了となる。
- ③令和3～4年度の役員選任の手続きについて説明を行い、役員候補について議論を行った。

第1号議案につき、質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ満場意義なく了承された。

##### 第2号議案 第37期(令和2年度)事業報告

および第38期(令和3年度)事業計画(案)について〈承認決議事項〉

2-1 資料に基づき、事務局が第37期事業報告を行った。

- ①「釣竿の表示に関する公正競争規約」と施行規則等に関する事業
  - ア) コロナ下におけるシールの在庫調整を実施した。
  - イ) 公正マークの模倣品に関する情報提供があった。
- ②広報・宣伝に関する事業
  - ア) 会場におけるフィッシングショー開催が中止となったため、オンラインフィッシングショー(釣りフェスティバル)へ出展した。
  - イ) 広報・宣伝事業に関する報告は別途第4号議案にて行った。
- ③調査指導に関する事業  
調査指導委員会実施の会員対象調査、店頭調査、事務局実施の繊維含有率検査について、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため中止した。
- ④各委員会活動・研修
  - ア) 総務委員会をオンライン(Zoom)にて開催した。
  - イ) 調査指導委員会をオンライン(Zoom)にて開催した。
  - ウ) 釣り研修は中止した。

2-2 つづいて第38期事業計画案について説明を行った。

- ①「釣竿の表示に関する公正競争規約」と施行規則等に関する事業  
規約を遵守することは、製品表示のコンプライアンスにつながることを呼び掛けていく。
- ②公正マークの管理に関する事業  
公正マークシールの在庫管理と、公正マークの商標権管理を適切に行う。
- ③広報・宣伝に関する事業
  - ア) 釣り人の皆様だけではなく、これから釣りを始める方々にも、公正マークの役

割・機能を知っていただき、公正マーク付の釣竿を購入していただくきっかけづくりを行う。

イ) 釣り初心者向けの広報を検討する。(公式 SNS の運用開始等も含む)

④調査指導に関する事業

調査事業への参加率向上を呼び掛けていく。

第 2 号議案につき、質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、満場意義なく了承された。

第 3 号議案 第 37 期（令和 2 年度）収支決算見通しおよび第 38 期（令和 3 年度）収支予算（案）について<承認決議事項>

3-1 資料に基づき事務局が、令和 3 年 3 月末収支決算見込（最終見込）を報告した。

【3 月末時点 収支見込（抜粋）】

|          |          | 対予算   | 対前年   |
|----------|----------|-------|-------|
| 事業活動収入   | 2,227 万円 | 108%  | 106%  |
| 事業活動支出計  | 1,928 万円 | 88%   | 85%   |
| （事業費支出）  | 1,278 万円 | 89%   | 85%   |
| （管理費支出）  | 650 万円   | 84%   | 81%   |
| 事業活動収支差額 | 299 万円   | -196% | -166% |
| 次期繰越収支差額 | 1,877 万円 | 142%  | 109%  |

①令和 2 年度収入は対予算 108%となる見込みである。特に比例会費収入は対予算 107%、公正警告マークシールの販売収入は 178%と増加した。しかしながら、審査手数料収入は、対予算 75%・令和元年度実績 68%と落ち込んだ。

②支出の見込は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止した事業があり、対予算 88%の達成率となった。

ア) 事業費支出のうち、広報宣伝費支出は、フィッシングショーがオンライン開催となった関係で対予算 63%、調査事業費は、調査事業を中止したため、対予算 1%となった。一方で、シールの販売が増加したこと、シール製造工場の稼働状況等の関係から、証票（シール）購入費用支出は対予算 175%、対前年 154%と増加した。

イ) 管理費支出は、対予算 84%、対前年 81%となっており、中止した事業等の影響で対予算、対前年と比べ減少した。

3-2 つづいて令和 3 年度収支予算案について説明を行った。

【令和 3 年度 収支予算案（抜粋）】

|          |          | 対令和 2 年度最終見込 |
|----------|----------|--------------|
| 事業活動収入   | 2,235 万円 | 100%         |
| 事業活動支出   | 2,324 万円 | 121%         |
| （事業費支出）  | 1,545 万円 | 120%         |
| （管理費支出）  | 779 万円   | 120%         |
| 事業活動収支差額 | -88 万円   | -26%         |

次期繰越収支差額 1,688 万円 90%

- ①令和3年度予算における収入は、対令和2年度最終見込を基本とした。支出は対令和2年度最終見込121%とした。令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響等で実施できなかった事業が実施可能となることを前提に、予算案を作成した。
- ②令和3年度予算における事業費支出は、対令和2年度最終見込120%とした。
  - ア) 広報宣伝事業費は、フィッシングショーが会場で開催されることを前提に予算化した。
  - イ) 調査事業費は、会員対象調査・店頭調査・繊維含有率検査を実施することを前提に予算化した。
  - ウ) 証票事業費は、シールの販売状況等を適切に管理することで、支出を見直した。
- ③令和3年度予算における管理費支出は、対令和2年度最終見込120%とした。
  - ア) 会議費については、会場開催を前提として予算化した。
  - イ) その他支出についても、事業を実施することを前提に予算化した。

第3号議案につき、質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、満場意義なく了承された。

#### 第4号議案 周知広報について<承認決議・報告事項>

##### 4-1 オンラインフィッシングショー出展報告<報告事項>

- ①釣りフェスティバル2021 当協議会オンラインブースでは、当協議会会員一覧、釣竿公正マーク（ポスター含む）、感電注意、について紹介し、アンケート実施を告知した。オンラインブースにて放映した動画は、期間中393回再生された。
- ②オンライン出展に合わせ、WEBメディア（TSURI HACK）への広告を出稿した。内容は、公正マークの役割・機能の紹介、感電事故防止に関する啓蒙、公正マークに関するアンケートの告知を、アングラーズアイドル2名で行った。  
1/22～2/5までの結果は以下の通り。
  - ア) 訪問者数 8,027 ページビュー（6,694 ユニークユーザー）
  - イ) サイト平均滞在時間 2:28
  - ウ) 読了率 41%
  - エ) 男女比 ほぼ男性（25～54歳）
  - オ) スマホ閲覧率 91%

##### ③アンケート結果速報<報告事項>

オンラインフィッシングショー開催期間中（1/22～2/24）釣竿公正マークについてのアンケートを実施した。結果速報は以下の通り。

ア) 回答件数 1,094 件

|        |     |          |   |     |        |
|--------|-----|----------|---|-----|--------|
| a) 男女比 | 男性  | 1,071 回答 | ／ | 女性  | 23 回答  |
| b) 年代  | 10代 | 17 回答    |   | 20代 | 194 回答 |
|        | 30代 | 402 回答   |   | 40代 | 322 回答 |
|        | 50代 | 138 回答   |   | 60代 | 10 回答  |
|        | 70代 | 10 回答    |   |     |        |

|                       |        |               |
|-----------------------|--------|---------------|
| イ) 当協議会を知っているか        |        |               |
| 知っている                 | 558 回答 | ／ 知らない 536 回答 |
| ウ) 公正マーク付の釣竿のイメージ     |        |               |
| 信頼できる釣竿である            | 509 回答 |               |
| メーカー・販売元が明らかな釣竿である    | 351 回答 |               |
| あまり意味は無い              | 55 回答  |               |
| よくわからない               | 179 回答 |               |
| エ) 希望するプレゼント          |        |               |
| A 賞 BALMUJA The Gohan | 201 名  |               |
| B 賞 Nintendo Switch   | 451 名  |               |
| C 賞 公正マーク付水筒          | 305 名  |               |
| D 賞 公正マーク付スマホ充電器      | 137 名  |               |

アンケート結果の詳細は、第 37 回定時総会資料に掲載する。また、プレゼントの抽選を行い、各賞の当選者が決定した。

4-2 2021 年度釣竿公正マーク周知広報ポスターについて<報告・承認決議事項>  
ポスターのポーズにつき報告を行い、デザイン案については後日メール等にて回覧することとした。

また、ポスターの配布については、会員企業の皆様のご協力で釣具店、釣り宿店、管理釣り場、イベント等での掲示をお願いしていくことが承認された。ポスターは、春夏版が 4 月上旬、秋冬版が 9 月最終週をめぐり、会員の皆様方へ発送する予定である。

4-3 雑誌広告について<承認決議事項>

下記の 10 媒体（11 回）4 月下旬から 5 月下旬にかけ広告を出稿することを説明した。

つり人、つりニュース（関東・中部）、釣り画報、釣ファン  
つり情報、つり丸、バサー、へら鮎、アングリングファン、  
磯釣リスペシャル

第 4 号議案について、質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、満場意義なく了承された。

第 5 号議案 その他<報告・承認決議事項>

資料に基づき事務局が、承認決議を求め、また報告を行った。

5-1 第 37 回定時総会における表彰について<承認決議事項>

5 月開催予定の定時総会にて会員 4 社（うち 2 社は、昨年定時総会が書面開催となり表彰が未実施）、役員 3 名の表彰を行うことについて承認を求めた。

①会員 4 社 永年継続 10 年

令和 3 年度表彰 青森宝栄工業株式会社・株式会社下田漁具

令和 2 年度表彰 株式会社キャップス ・株式会社ブライトリバー

②役員 3 名

20 年表彰 鈴木隆 副会長

12 年表彰 玉越和夫 監事・姫野哲司 監事

5-2 第 37 回定時総会開催方法について<承認決議事項>

新型コロナウイルス感染症等の状況を調査し、外部会議室の利用やオンライン開催、書面開催、開催延期等、状況に応じた開催方法を検討する。開催方法については、会長・副会長一任とすることについて承認を求めた。

5-3 会員からの情報提供<承認決議事項>

会員より、海外において公正マークの模倣品と思われるシールが出回っているとの連絡を受けた。弁理士及び弁護士のアドバイス、海外に現地法人がある役員企業からの情報等を基に対応を行うことについて承認を求めた。

第 5 号議案について、質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、満場意義なく了承された。

以上をもって第 164 回理事会の全部の議案審議が終了したので、藤井会長の指名により鈴木副会長が挨拶を行い、閉会を宣言した。

令和 3 年 3 月 10 日

上記の議決を確認するため議長及び議事録署名人は次に署名、押印する。

全国釣竿公正取引協議会 第 164 回理事会

議長理事 会長 藤井 治幸

㊟

議事録署名人 理事 塩澤 直人

㊟

議事録署名人 理事 加藤 慶太

㊟